

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-175428

(43)Date of publication of application : 02.07.1999

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

H04L 12/54

H04L 12/58

(21)Application number : 09-346105

(71)Applicant : HITACHI SOFTWARE ENG CO LTD

(22)Date of filing : 16.12.1997

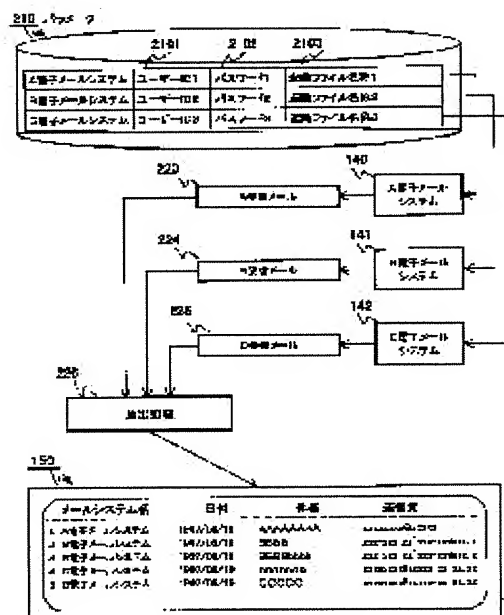
(72)Inventor : ANDO TOMOHIKO

**(54) RECEIVING MAIL UNITARY MANAGEMENT METHOD OF DIFFERENT ELECTRONIC MAIL SYSTEM**

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To improve operability by acquiring a receiving mail from a mail server on which the same type of an electronic mail system is mounted, extracting a necessary item such as a sending source and displaying it in the list.

**SOLUTION:** A parameter 210 of each electronic mail system 140 to 142 is accessed which is set in an external storage device, etc., user ID information 2101 for starting each system 140-142, password information 2102 and start file name information 2103 are read from the parameter 210. Next, the A electronic mail system 140 is automatically started and a receiving mail 223 is fetched from a mail server. An extracting processing 226 extracts needed items in a header part from the mail 223 and they are added to the list display 150. The display 150 shows, e.g. information such as the data, item name and sending source of a receiving mail in each different mail system.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination] 15.06.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 24.04.2001

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-175428

(43) 公開日 平成11年(1999) 7月2日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 13/00

H 0 4 L 12/54

12/58

識別記号

3 5 1

F I

G 0 6 F 13/00

H 0 4 L 11/20

3 5 1 C

1 0 1 B

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平9-346105

(22) 出願日 平成9年(1997)12月16日

(71) 出願人 000233055

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

(72) 発明者 安藤 智彦

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地  
日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社  
社内

(74) 代理人 弁理士 秋田 収喜

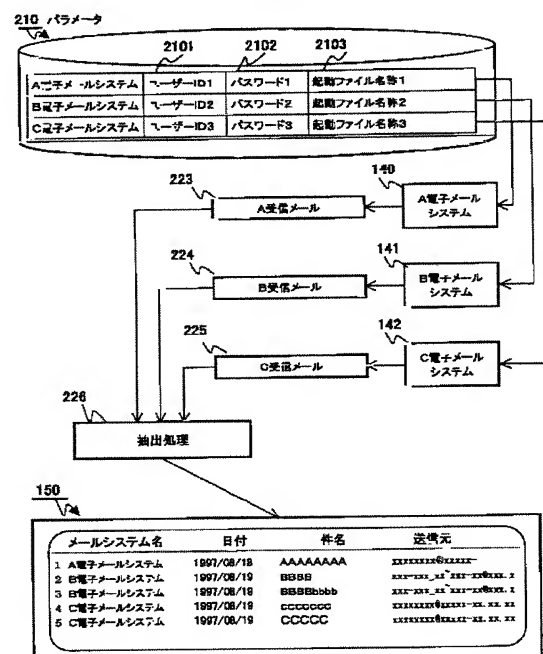
(54) 【発明の名称】 異なる電子メールシステムの受信メール一元管理方法

(57) 【要約】

【課題】 異なるメールサーバの電子メールシステム上に蓄積された受信メールを、クライアント側で一括に取り込み、一覧で表示させて管理する。

【解決手段】 クライアント装置内の複数の異なる電子メールシステムを自動起動させるためのパラメータが設定された記憶手段を用意し、受信メールの一覧表示を行なわせるに際して、前記パラメータを元に各電子メールシステムを順次起動し、その起動された電子メールシステムにより同種の電子メールシステムを搭載しているメールサーバから受信メールを取得し、その受信メール中の送信元などの必要な項目を抽出し、一覧表示させる。

図 2



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 異なる電子メールシステムを搭載した複数のメールサーバと、このメールサーバにネットワーク接続され、前記メールサーバの電子メールシステムと同種の複数の電子メールシステムを搭載したクライアント装置とから成るクライアント・サーバシステム環境の電子メールシステムにおいて、  
前記クライアント装置内の複数の異なる電子メールシステムを自動起動させるためのパラメータが設定された記憶手段を用意し、受信メールの一覧表示を行なわせるに際して、前記パラメータを元に各電子メールシステムを順次起動し、その起動された電子メールシステムにより同種の電子メールシステムを搭載しているメールサーバから受信メールを取得し、その受信メール中の送信元などの必要な項目を抽出し、一覧表示させることを特徴とする異なる電子メールシステムの受信メール一元管理方法。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、オフィス等に構築されたクライアント・サーバシステム環境下において、組織または個人宛に送信された異なる電子メールシステムからの受信メールを、受信情報として一括して取り込んで一元管理する方法に関するものである。

**【0002】**

【従来の技術】従来、オフィス等に構築されたクライアント・サーバ・システム環境下においては、多数の顧客あるいは得意先の電子メールシステムとの間で電子メールを円滑に交信するために、顧客あるいは得意先が運用している電子メールシステム（電子メールプログラム）と同じまたは同等の通信プロトコル、データフォーマットおよび機能を備えた複数の電子メールシステムをクライアント装置に搭載し、顧客あるいは得意先との交信を行なうようにしたものがある。

【0003】このように、クライアント装置に複数の電子メールシステムを搭載した場合、それぞれの電子メールシステムを個別に起動し、受信メールが到着しているかどうかを確認する必要がある。

**【0004】**

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来にあっては、各電子メールシステムを手動操作によって個別に起動し、各電子メールシステムに受信メールが到着しているかどうかを確認するようにしているため、全ての電子メールシステムが受信している受信メールを確認するのに手間と時間がかかり極めて面倒であるという問題があった。

【0005】本発明の目的は、異なる電子メールシステムの受信メールを一括して確認することができる異なる電子メールシステムの受信メール一元管理方法を提供することにある。

**【0006】**

【課題を解決するための手段】上述の目的を達成するために、本発明は、クライアント装置内の複数の異なる電子メールシステムを自動起動させるためのパラメータが設定された記憶手段を用意し、受信メールの一覧表示を行なわせるに際して、前記パラメータを元に各電子メールシステムを順次起動し、その起動された電子メールシステムにより同種の電子メールシステムを搭載しているメールサーバから受信メールを取得し、その受信メール中の送信元などの必要な項目を抽出し、一覧表示させることを特徴とする。

**【0007】**

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態を図面を参照して具体的に説明する。図1は、ネットワーク全体の構成を含む本発明の一実施の形態を示すブロック図である。図1において、110はA電子メールシステム113を搭載する第1のメールサーバ、111はB電子メールシステム114を搭載する第2のメールサーバ、112はC電子メールシステム115を搭載する第3のメールサーバ、120は通信回線網である。これらの各メールサーバ110、111、112は通信回線網120に接続されており、各メールサーバ110、111、112の各電子メールシステム113、114、115上には、送信されてきたメールデータが蓄積されている。また、これら各メールサーバ110、111、112は通信回線網120を介してクライアント装置130から受信メールの転送要求を受けることにより、その要求された受信メールを要求もとのクライアント装置130に転送する。

【0008】一方、オフィス等に設置されるクライアント装置130には、A電子メールシステム140、B電子メールシステム141、C電子メールシステム142が搭載されており、これらは通信回線網120に接続されている。

【0009】ここで、仮に「USER」という個人宛てに、各メールサーバ110、111、112の各電子メールシステム113、114、115上に送信されてきた受信メールが存在する場合、クライアント装置130に搭載されている各電子メールシステム140、141、142は「USER」の受信メールデータを取り込み、必要な項目を抽出する。抽出された情報はクライアント装置130の表示画面に一覧表示150として表示される。本実施形態は、一覧表示150により各電子メールシステムの受信メールを一元管理するものである。

【0010】次に、各電子メールシステム113、114、115に存在する受信メールの取り込み抽出処理方法について、図2を用いて説明する。まず、クライアント装置130の外部記憶装置内等に各電子メールシステム140、141、142を起動するユーザーID情報2101、パスワード情報2102、電子メールシステ

ムの起動ファイル名情報2103を予め設定しておく。そこで、受信メールの一覧表示を行なわせるに際しては、前記外部記憶装置内等に設定しておいた各電子メールシステム140, 141, 142の前記パラメータ210をアクセスし、そのパラメータ210の中から各電子メールシステム140, 141, 142を起動するユーザーID情報2101、パスワード情報2102、起動ファイル名情報2103を読み取る。

【0011】次に、読み取ったパラメータ210を元に、A電子メールシステム140を自動起動し、この自動起動されたA電子メールシステム140によってメールサーバ110から受信メール223を取り込む。取り込まれた受信メール223は抽出処理226によって、ヘッダー部の必要な項目が抽出され、一覧表示230に追加されていく。同様に、B電子メールシステム141, C電子メールシステム142を順次自動起動し、メールサーバ111, 112から受信メール224, 225を取り込む。取り込まれた受信メール224, 225抽出処理226によって、ヘッダー部の必要な項目が抽出され、一覧表示230に追加されていく。

【0012】一覧表示150では、図示のように、例えば、メールシステム別に、受信メールの日付、件名、送信元などの情報が表示される。

【0013】図3は、受信メールの取り込み抽出処理の手順を示すフローチャートである。まず、ステップ310でパラメータ210から予め設定してあるユーザーID情報2101、パスワード情報2102、電子メールシステムの起動ファイル名情報2103を読み込む。ステップ320の分岐判定では、パラメータ210が存在するか否かを判定し、存在する場合はステップ330に進み、存在しない場合は終了する。ステップ330では、ステップ310で読み込まれたパラメータ210を元に、該当する電子メールシステムを起動する。ステップ340の分岐判定では、起動された電子メールシステムに、受信メールが存在するか否かを判定し、存在する場合は、ステップ350へ進み、受信メールの必要な項目を抽出し、さらに、同種の電子メールシステムに受信メールが存在するか否かを判定するステップ340に戻り、同様の処理を繰り返す。逆に、ステップ340で受

信メールが存在しない場合は、ステップ310に戻り、次の電子メールシステムのパラメータ210を読み込み、同様の処理を繰り返す。

【0014】なお、図2の一覧表示150において、送信宛先の氏名あるいは部署名などが分かる場合は、氏名別あるいは部署名別にさらに分類して表示するようにしてもよい。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、複数の異なる電子メールシステムを自動起動させるためのパラメータを予め設定しておき、受信メールの一覧表示を行なわせるに際しては、前記パラメータを元に各電子メールシステムを順次起動し、その起動された電子メールシステムにより同種の電子メールシステムを搭載しているメールサーバから受信メールを取得し、その受信メール中の送信元などの必要な項目を抽出し、一覧表示させるように構成したため、自動起動のためのパラメータを指定する操作のみで複数の電子メールシステムの受信メールを一括して取得し、一覧表示させることができる。これにより、極めて簡単な操作で複数の電子メールシステムがの受信メールを一元管理することができ、操作性が大幅に向上する。特に、今後において多種の電子メールシステムが実用化されることが必至であるが、本発明によれば、新たな電子メールシステムが追加されたとしても、その電子メールシステムを起動させるためのパラメータを追加設定するのみで対処することができ、電子メールシステムの増設あるいは削除に際して柔軟に対処することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態を示すブロック図である。

【図2】受信メール取り込み抽出処理を示す図である。

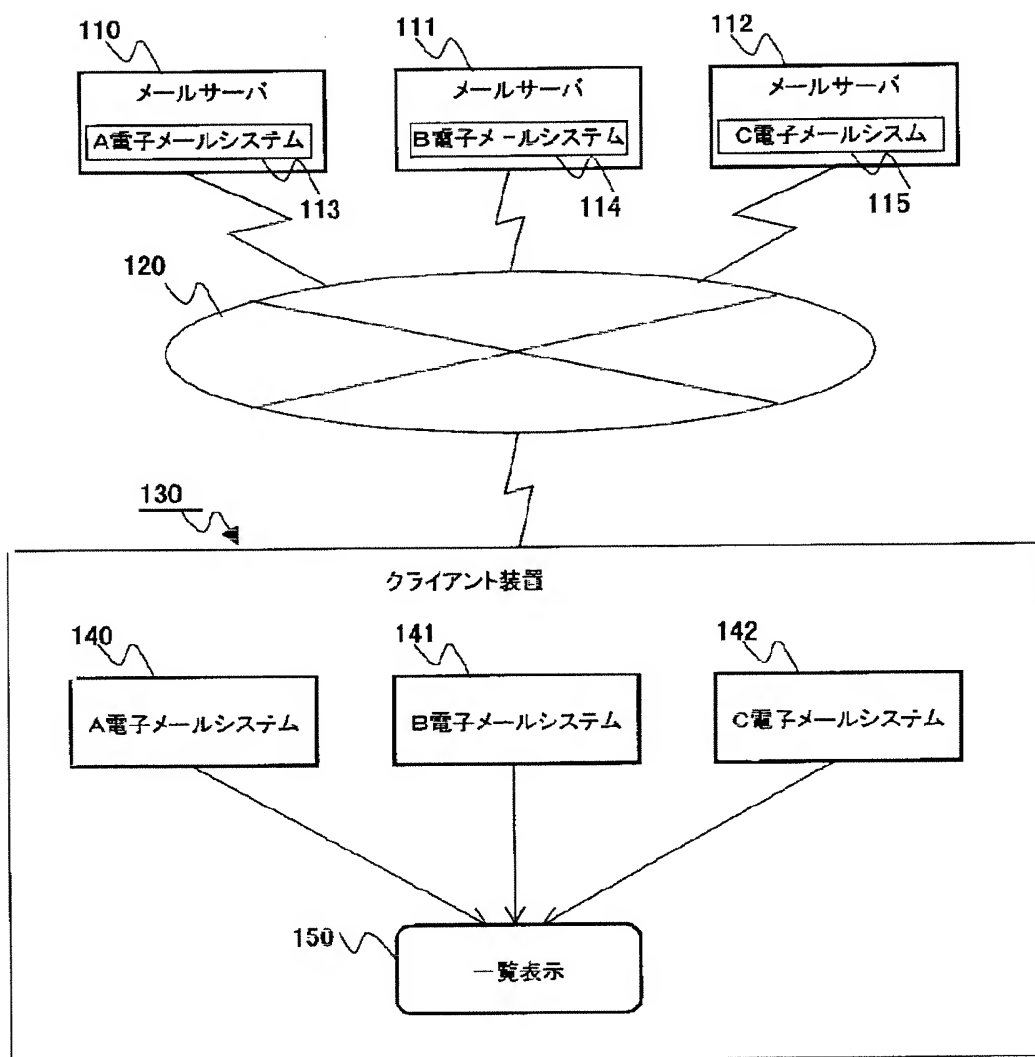
【図3】受信メール取り込み抽出処理手順を示すフローチャート図である。

【符号の説明】

110, 111, 112…メールサーバ、113, 114, 115…電子メールシステム、120…通信回線網、130…クライアント装置、140～142…電子メールシステム、150…一覧表示、210…パラメータ、226…抽出処理。

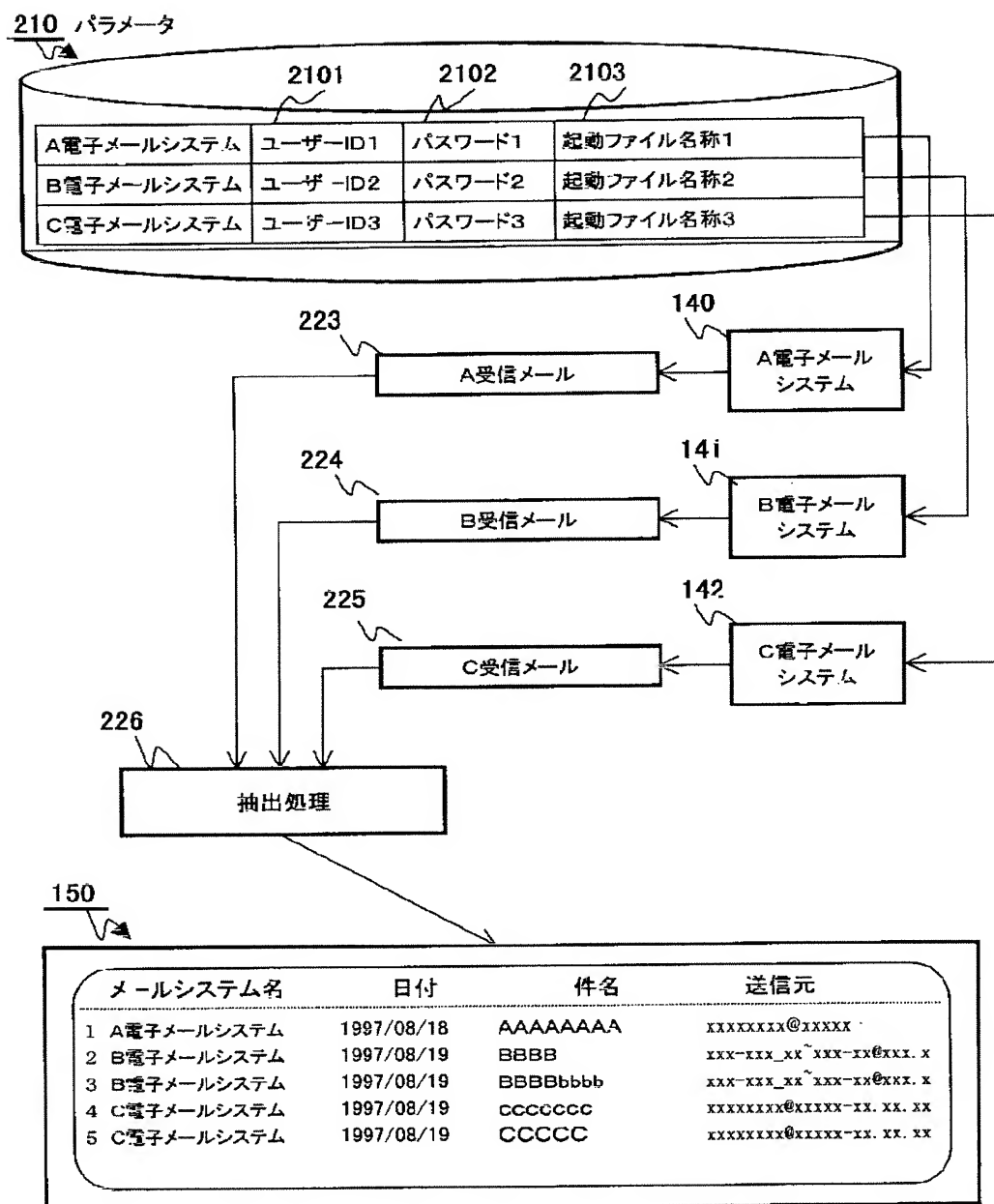
【図1】

図1



【図2】

図2



【図3】

図3

